

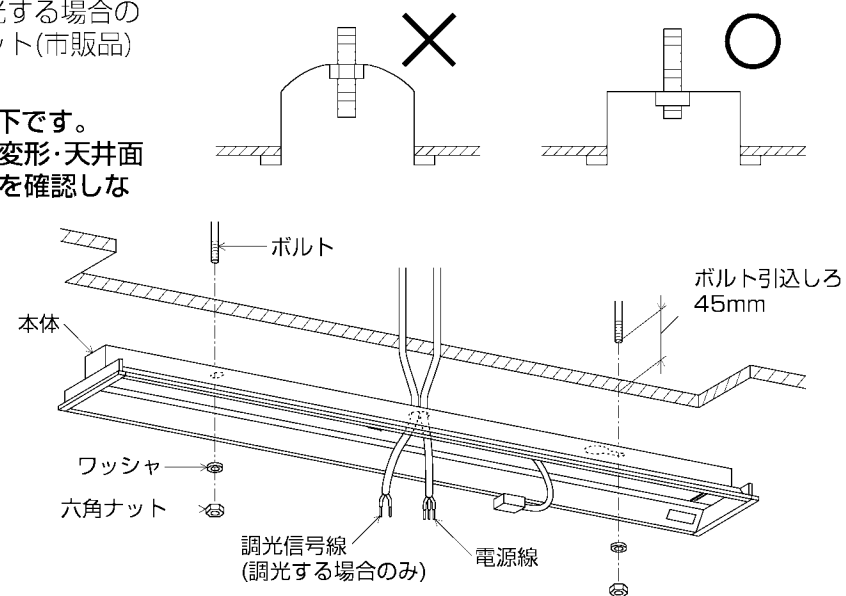
型 番	定格電圧	入力電流	消費電力	使用LEDユニット(別売)	
AD90774L	AC100V～AC254V	0.46A～0.18A	45.5W	AE45718L・AE45719L AE45720L・AE45721L	ON/OFF用
		0.46A～0.18A		AE45722L・AE45723L AE45724L・AE45725L	調光用
		0.35A～0.14A	34.6W	AE45726L・AE45727L AE45728L・AE45729L	ON/OFF用
		0.35A～0.14A		AE45730L・AE45731L AE45732L・AE45733L	調光用
		0.28A～0.11A	27.0W	AE45734L・AE45735L AE45736L・AE45737L	ON/OFF用
		0.28A～0.11A		AE45738L・AE45739L AE45740L・AE45741L	調光用
		0.22A～0.09A	21.7W	AE45742L・AE45743L AE45744L・AE45745L	ON/OFF用
		0.22A～0.09A		AE45746L・AE45747L AE45748L・AE45749L	調光用
		0.18A～0.07A	17.4W	AE45750L・AE45751L AE45752L・AE45753L	ON/OFF用
		0.18A～0.07A		AE45754L・AE45755L AE45756L・AE45757L	調光用
		0.17A～0.07A	16.5W	AE45758L・AE45759L AE45760L・AE45761L	ON/OFF用
		0.17A～0.07A		AE45762L・AE45763L AE45764L・AE45765L	調光用
		0.31A～0.12A	30.2W	AE43591L・AE43592L AE43593L・AE43594L	ON/OFF用
		0.21A～0.09A	20.5W	AE43587L・AE43588L AE43589L・AE43590L	
		0.17A～0.07A	16.4W	AE43583L・AE43584L AE43585L・AE43586L	

取説No. C721-033 KL/S・T

1 本体を取付ける

本体の電源穴に電源線、調光信号線(調光する場合のみ)を通し、ボルトにワッシャ、六角ナット(市販品)で取付ける。

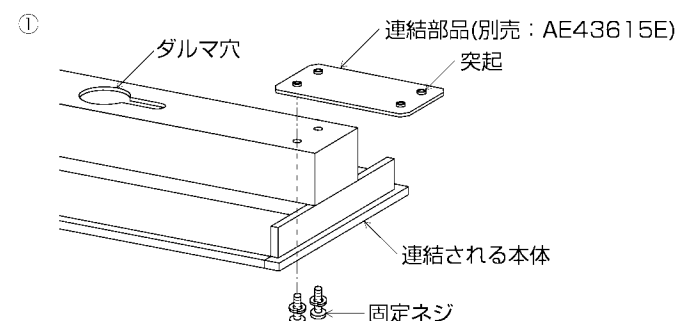
※六角ナットの締付トルクは1.0N・m以下です。
締付トルクが適正値を超えると、器具変形・天井面とのすきまの原因になります。すきまを確認しながら締め付けを調整してください。



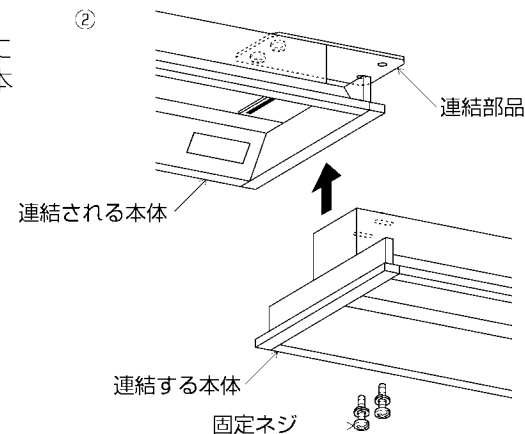
<器具を連結する場合>

①連結される本体のダルマ穴側に連結部品(別売：AE43615E)を固定ネジで取付けてから、ボルトに取付ける。

△注意 連結部品(別売：AE43615E)の突起は本体側に向けないでください。
器具の落下によるけがの原因になります。



②連結する本体の長穴側を連結部品に合うように押し上げてボルトに取付けてから、連結する本体を連結部品に固定ネジで取付ける。



2 電源線を接続する

ストリップゲージに合わせて電源線の被覆をむき、接続端子に確実に差し込む。また、送り配線は照明器具専用とする。(送り総容量15A)
はずす時は解除ボタンを押し、電源線を抜く。

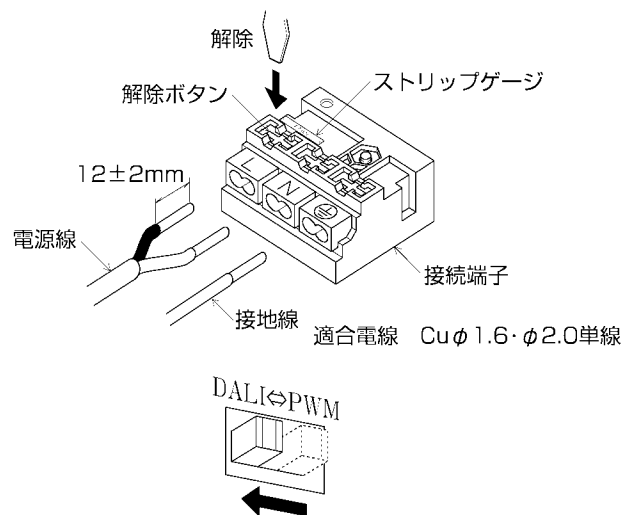
※D種(第三種)接地工事を行なう。

△警告 電源の接続は確実にこなってください。
接続が不完全な場合や容量オーバーした場合は火災・感電の原因になります。

<DALI信号で調光する場合>

DALI信号でご使用される場合は、LEDユニットのDALI/PWM切替スイッチをDALI側に切り替える。

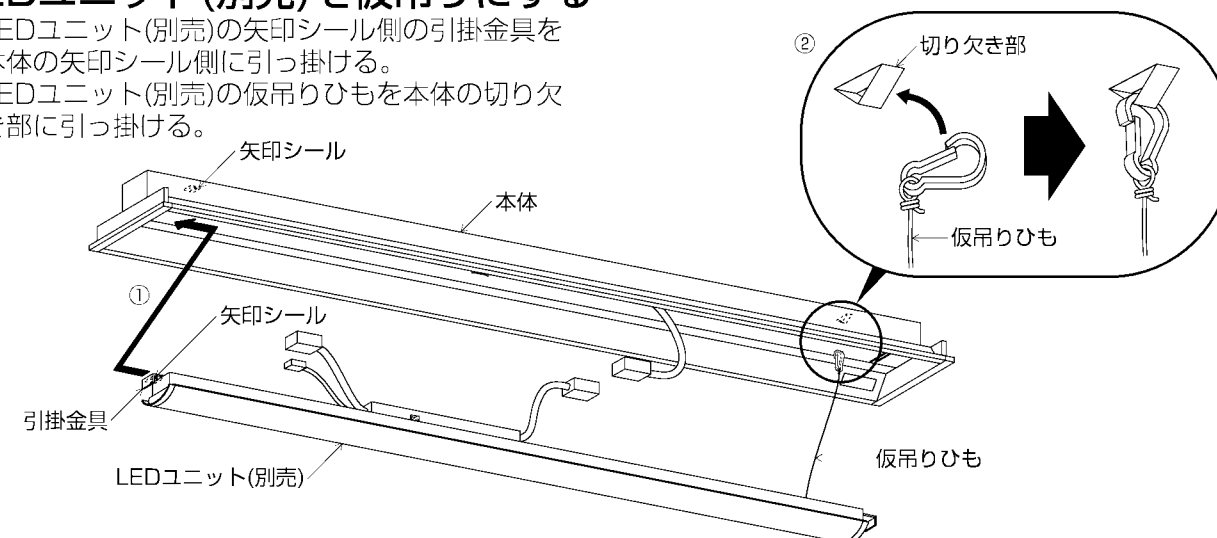
※出荷時は、PWM側に設定しています。



3 LEDユニット(別売)を仮吊りにする

①LEDユニット(別売)の矢印シール側の引掛金具を本体の矢印シール側に引っ掛ける。

②LEDユニット(別売)の仮吊りひもを本体の切り欠き部に引っ掛ける。



4 コネクタを接続する

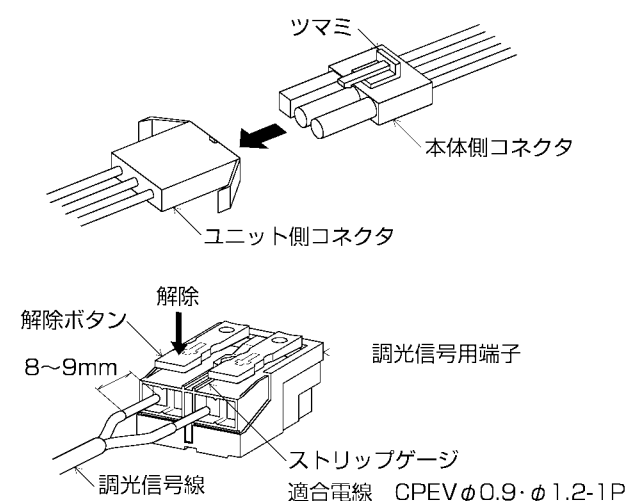
本体側コネクタをユニット側コネクタに確実に差し込む。
はずす時はツマミを押しながら抜く。

△警告 電源の接続を確実にこなってください。
接続が不完全な場合は火災の原因になります。

<調光する場合>

ストリップゲージに合わせて調光信号線の被覆をむき、調光信号用端子に確実に差し込む。
はずす時は解除ボタンを押し、調光信号線を抜く。

△警告 調光信号線の接続を確実にこなってください。
接続が不完全な場合は火災・感電の原因になります。

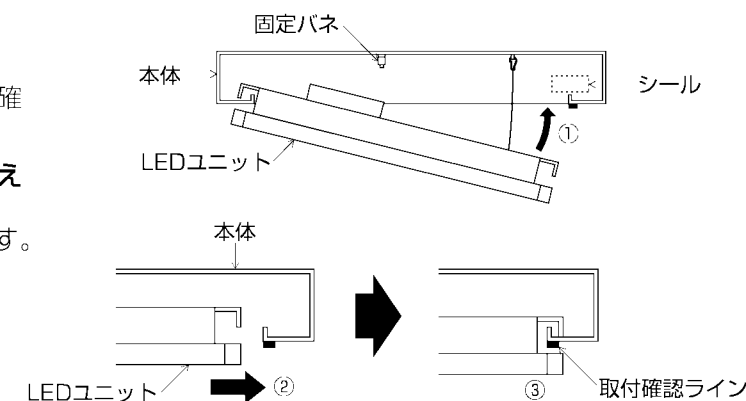


5 LEDユニットを取付ける

①LEDユニットを押し上げる。

②③LEDユニットを“カチッ”と音がするまで取付確認ラインの方向にスライドさせる。

△警告 取付確認ラインがLEDユニットで全部見えなくなったことを確認してください。
スライドが不完全な場合、落下の原因になります。



6 点灯の確認を行なう

！ 器具の取外しは工事店・電器店に依頼してください。→感電の原因になります。

■使用上のご注意

- 器具の近くでリモコン(コントローラ)を操作した場合、誤動作することがあります。
器具とコントローラ受信部を離してご使用ください。
- 器具の近くや電波状況の弱い場所では音響製品に雑音が入る場合があります。
器具と音響製品を離してご使用ください。
- 点灯および消灯後に器具構成材料の熱伸縮により若干のきしみ音が発生することがありますが、異常ではありません。
- ホタルスイッチなど、電源OFF時に表示が点灯するタイプのスイッチを使用する場合、壁スイッチの使用は4個までとしてください。壁スイッチを5個以上使用される場合は、ホタルスイッチタイプ以外のスイッチを使用してください。
- 調光用LEDユニットを使用する場合、ライトコントローラなどの調光器と組み合わせて使用する際は、必ず当社指定のライトコントローラ・調光器(別売)をご使用ください。チラツキ・誤作動の原因になります。

■LEDユニットについて

- 明るさが70%になるまで平均約40000時間です。
- LEDのみの交換はできません。
- LEDは輝度が高いため、直視しないでください。
- LEDにはバラツキがあるため、同一型番でも発光色、明るさが異なる場合があります。ご了承ください。
- 電源ON時にスイッチが点灯する表示付スイッチを使うと、表示が暗くなったり点灯しないことがあります。

■LEDユニット交換について △警告 LEDユニットの交換は工事店・電器店に依頼してください。
感電の原因になります。
△注意 LEDユニット交換の際は安全のため電源を切ってください。
感電の原因になります。

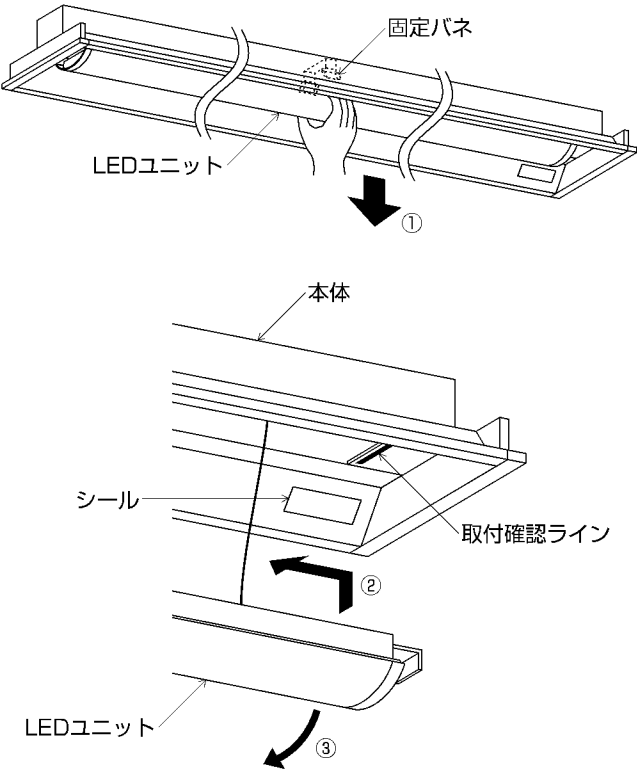
△警告 指定のLEDユニット以外は使用しないでください。
間違った種類、ワット数のLEDユニットを使用すると火災の原因になります。

△注意 点灯中や消灯直後は器具やLEDユニットが高温のため触らないでください。やけどの原因になります。
しばらくしてから行なってください。

1 電源を切る

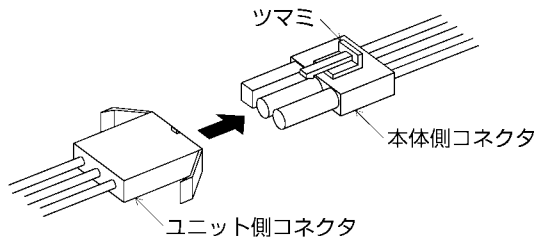
2 LEDユニットを仮吊りにする

- ①LEDユニットの中央部をかるく引き下げて固定パネからLEDユニットをはずす。
- ②LEDユニットの端(本体のシール側)を少し持ち上げながら、取付確認ラインが全部見えるまで矢印方向にスライドさせる。
- ③本体のシール側のLEDユニット端を持って引き下げる。

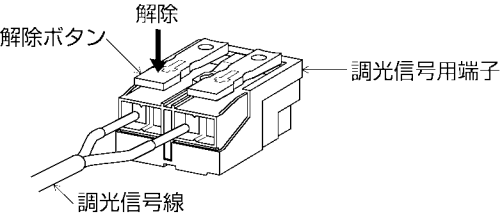


3 コネクタを取外す

ツマミを押しながら、ユニット側コネクタから、本体側コネクタを抜く。

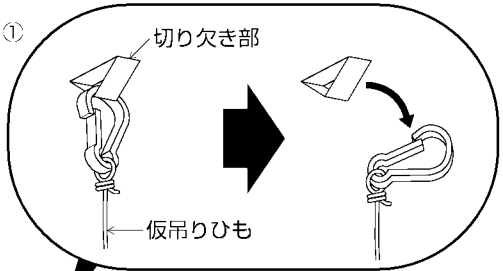
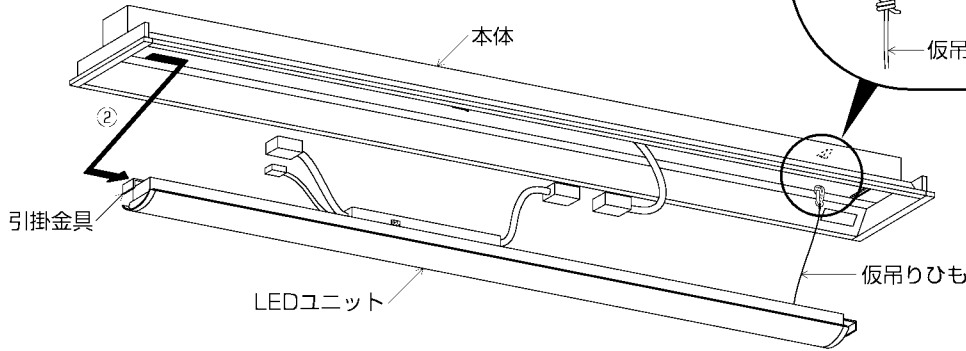


＜調光している場合＞
調光信号用端子の解除ボタンを押しながら、調光信号線を抜く。



4 古くなったLEDユニットを取外す

- ①LEDユニットを支えながら、仮吊りひもを本体の切り欠き部から取外す。
- ②LEDユニットの引掛金具を本体より取外す。



5 新しいLEDユニットを仮吊りにする

施工手順3を参考にLEDユニットを仮吊りにする。P.5

6 コネクタを接続する

施工手順4を参考にコネクタを接続する。P.5

7 LEDユニットを取付ける

施工手順5を参考にLEDユニットを取付ける。P.5

8 使用済みのLEDユニットは

必ず市区町村の指示に従い、処理してください。

- 器具のお手入れ △注意 器具のお手入れの際は安全のため電源を切ってください。感電の原因になります。
- 明るく安全に使用していただくために6ヶ月に1回程度の清掃・点検をしてください。
 - 器具の汚れは乾いた柔らかい布か薄めた中性洗剤を浸透させた柔らかい布をよく絞ってから拭き取ってください。シンナーやベンジンなどの揮発性のもので拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。また、薄めた中性洗剤を使用した場合は、洗剤が残らないよう、よく拭き取ってください。変質・故障の原因になります。